

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	事業対象地において、妊産婦・乳幼児死亡率が減少する。
(2) 事業内容	当初の計画通り、活動1～3を順調に中間報告までに実施した。事業内容の詳細が書かれた別添1を合わせて参照されたい。また、事業の内容および効果に関する写真は別添2を参照のこと。
	<p>中間報告時点で、下記の通りの成果が確認されている。</p> <p><u>事業目的：事業対象地において、母子保健状態が改善する</u></p> <p>指標1：90%以上の3歳未満児が本プログラムを卒業できる。 達成傾向 こどもの成長記録によると、現在、65%が本プログラムからの卒業を意味する、「36カ月時に12キロ以上」、もしくはミ国保健省が設定したチャートによる標準偏差1に収まるという状態に至っている。</p> <p>指標2：標準体重未満の児童の割合がミャンマー平均（32%）まで減少する。 未達成 こどもの成長記録によると、現在、73%が標準体重未満である。引き続き、栄養補助食配給、微量栄養素配布、健康教育、などに取り組んでいきたい。</p> <p>指標3：直接受益者の基礎保健知識が20%向上する。 事業終了時に評価予定</p> <p>指標4：避妊普及率がミャンマー平均まで向上する（30%→34%） 事業終了時に評価予定</p> <p>指標5：90%以上の妊婦、授乳期にある母親が微量栄養素を摂取できる。 達成傾向。72%の妊婦、授乳期にある母親が微量栄養素を摂取できた。</p> <p>指標6：全対象村での妊産婦健診受診率がミャンマー平均まで向上する（22%→76%） 事業終了時に調査実施予定</p> <p>指標7：MCH非モデル村<sup>1</sup>で、50%の妊産婦が妊産婦健診を一度は受診する。 ほぼ達成。42%が妊産婦健診を一度は受診をした。</p> <p>指標8：MCH非モデル村で、50%の授乳期の母親が一度は産後健診を受信する。 部分的に達成。28%が産後健診を一度は受診した。</p> <p>指標9：MCHモデル村<sup>2</sup>で50%の妊産婦が、妊産婦健診、破傷風予防接種を受ける。 部分的に達成。妊産婦健診を33%、破傷風予防接種を34%の妊産婦が受けた。</p> <p>指標10：MCHモデル村で、50%の乳幼児が予防接種サービスを楽しむ。 部分的に達成。38%の乳幼児が予防接種を受ける。</p>

<sup>1</sup> 非モデル村： 村内に公的保健医療施設が存在しない、かつ、近隣の公的保健医療施設まで車で30分以上の場所に位置する村

<sup>2</sup> モデル村： 村内に公的保健医療施設が存在する、もしくは、近隣の公的保健医療施設が車で30分以内の場所に位置する村

	<p><u>成果1：直接受益者が必要栄養価を摂取出来る</u>          指標1-1：食糧と微量栄養補助剤が9割以上の直接受益者に配給される。          部分的に達成。90%の直接受益者が食糧配給を享受することができた。また、72%が微量栄養補助剤配給を享受することができた。          指標1-2：事業対象地において、「十分な栄養価を摂取出来ていない世帯」の割合が減少する。          事業終了時に調査実施予定</p> <p><u>成果2：母親グループの能力と知識が向上する</u>          指標2-1：対象村の半数で、母親グループメンバーによる食料配布と子供の成長記録が運営される。          事業終了時に調査実施予定          指標2-2：70%の母親グループメンバーが健康教育トレーニングに参加する。          ほぼ達成。67%が参加した。          指標2-3：母親グループメンバーの健康知識が30%向上する。          ほぼ達成。グループ4では29%。グループ6では46%向上した。          指標2-4：50%の母親グループメンバーがピアエデュケーションを実施できる。          達成。64%がピアエデュケーションを実施できた。          指標2-5：50%の母親グループメンバーが母子保健コンテストで成果を適切に示す。          事業終了時に調査実施予定</p> <p><u>成果3：直接受益者が、公的保健医療サービスの重要性を理解する</u>          指標3-1：妊産婦健診の必要性和存在を知らない受益者の割合が減少する。(11%→8%)          事業終了時に調査実施予定          指標3-2：(妊娠期間中の)破傷風予防接種の必要性和存在を知らない受益者の割合が減少する(6%→4%)          事業終了時に調査実施予定          指標3-3：(幼児・児童の)予防接種の必要性和存在を知らない受益者の割合が減少する(5%→3%)          事業終了時に調査実施予定          指標3-4：公的保健医療サービスの利用者割合が増加する(33%→44%)          事業終了時に調査実施予定          指標3-5：90%の母親グループメンバーが、公的保健医療施設の場所とサービス内容を理解する          事業終了時に調査実施予定</p>
(4) 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準体重未満の児童及びプログラムを卒業できない児童はいまだ多く存在し、期待される成果の達成に一層の努力が必要であることから、家庭訪問を適切に実施し、母親たちとより密なコミュニケーションを取っていく。尚、体重測定や標準体重との正確な比較方法が適切かどうか検証し、必要であれば見直しを行う。</li> <li>・健康知識の向上、事業終了後の持続発展性を高めるため、リフレッシュートレーニングや当法人の活動日以外の母親グループの活動も推奨していく。</li> <li>・限られた当法人現地スタッフでより多くの受益者をカバーできるよう、ロジスティクスを工夫し、より効率的な人材配置を行なっていく。</li> </ul>